

小節	練習曲と留意点	備考
時代		6/26 市民芸術祭
全般	①同じ音が続くときは常に「新しく、新しく」という気持ちで ②フォルダメントはだらしなく聞こえるのでやめて 19の“きょうは”、32&53の“…だーすよ”	全
0～8 小節	①“いまはこんなにかな一しくて なみだも枯れ一果てて”のことばをハッキリと ②“かな一しくて なみだも…”の“て”から“な”へシッカリ上がって (Br: ミ→ラ、Bs: ド→ソ) ③“もう一二度と…”の“二”のタテの線を合わせて	全 Br・Bs
11～18 小節	①mp の音量を抑えて、ことばをハッキリと ②(繰返し)で 17～18 の“ドア一を…”の“ドア一”を強調して	全 Br・Bs
37～45 小節	①“まわる…”で“わ”のシbへシッカリ上がって ②子音を立てて言葉を大事に。特に 38～39 の“じだい” ③45 のファ→レb →ドのレb へ確実に上がって	T1 T1 T2
49～50 小節	piu forte の“きょう”を強調して	全
かきつばた		6/26 市民芸術祭
全般	pp から f までの強弱の表現に留意して。Cresc.や decresc.にも注意を払って	全
1～3 小節	①“やなが一わの”の“が一”へ一気に上がって(ズリ上げない) ②“ふる一き…”の“ふ”はF u の発音で ③“ながれの一”の“一”は気分を高揚させて (四分休符で一息つくが) 次の“かきつばた”へその気分を保って	全
10 小節	“よ一るは…”はことばを一つづつ発音をていねいに	T1・T2
15～17 小節	①“…き一に”は decres.記号だがドの音を大事に。 ②“…あかす一”の“あ”は“か”の直前まで引っ張って	T1 全
19～21 小節	①16 分音符のことばををハッキリと (オバ一なくらい活舌よく) ②“ひんちいた一”のアは口をタテに開けて。頬も上げて	Br・Bs
21 小節	16 分音符のことばををハッキリと (オバ一なくらい活舌よく)	T1・T2
27～29 小節	フォルテ直前の“かき一つばた一”は子音を立ててことばをハッキリと	全
36 小節	“よ一るは…”はブツ切れにならないよう大事につないで	全
サライ		
91&95 小節	“す一ぎた一”と“い一きる一”の 16 分音符のシbコ一ーションを強調	T1
100 小節	“まぶた一”はことばをハッキリと	Bs
110～111 小節	“そ一らへ一”の 16 分音符のシbコ一ーションを強調	T2・Br・Bs
112～113 小節	① “…か一える一”の 16 分音符はもう少し飛んで。 ②“そのときまで一”の 16 分音符のリズムをシッカリと	Br
115～119 小節	タテの線をよく合わせて	全
夜の霰 (あられ)		
3～6 小節	3 小節からリズムが変わり、アクセント記号にもタテの線を合わせて	全
23 小節	“む一らを…”の“む”は mp で和音(ミbソシb)を聴き合って	全
25&27 小節	和音が不安定なので注意。Br は少し抑えて	Br
32～40 小節	mp の音量でことばの発音を大事に (44～49 小節も同じ)	T1・T2
38～40 小節	旋律なので mf をもう少し出して	T2・Br